

# ケアラー実態調査結果の概要 (北海道)

## 1 目的

支援を必要としているケアラーの早期発見や適切な支援につなげるための方策を検討するため、ケアラー本人が抱える悩みのほか、地域包括支援センターなどの関係機関における取組状況などを把握することを目的に実施。

## 2 調査方法

### 【高齢者・障がい者を世話しているケアラー等】(令和3年7月27日～8月26日)

#### (1) 高齢者を世話しているケアラーに対する調査

地域包括支援センター1カ所につき5名(要介護認定を受けている人で、サービス利用者4名、未利用者1名を目安)として、各市町村が対象者を選定・調査票配付。道へ郵送回答。

#### (2) 障がい者を世話しているケアラーに対する調査

特定相談支援事業所1カ所につき3名(障害児相談支援を実施する場合は、障がい者2名、障がい児1名を目安)として、事業所が対象者を選定・調査票配付。道へ郵送回答。

#### (3) 相談支援機関に対する調査

道内の全ての地域包括支援センター、特定障害者相談支援事業所及び生活困窮者自立相談支援事業所に対し、道又は市町村から調査依頼。道のウェブサイト上で回答。

### 【ヤングケアラー】(令和3年7月29日～8月27日)

#### (1) 生徒の生活実態に関する調査

札幌市立を除く道内の公立中学2年生及び公立高校2年生(全日制・定時制)に対し、各学校経由で調査の実施を依頼。道のウェブサイト上で回答。

#### (2) 学校におけるヤングケアラーへの対応に関する調査

札幌市立を除く道内の公立中学校及び公立高等学校に対し、調査の実施を依頼(市町村立学校は市町村教育委員会を経由)。道のウェブサイト上で回答。

#### (3) スクールソーシャルワーカーのヤングケアラーへの対応に関する調査

市町村が任用しているスクールソーシャルワーカーに対し、調査の実施を依頼(市町村が任用する者は市町村教育委員会を経由)。道のウェブサイト上で回答。

## 3 調査結果

### 【高齢者・障がい者をお世話しているケアラー等】

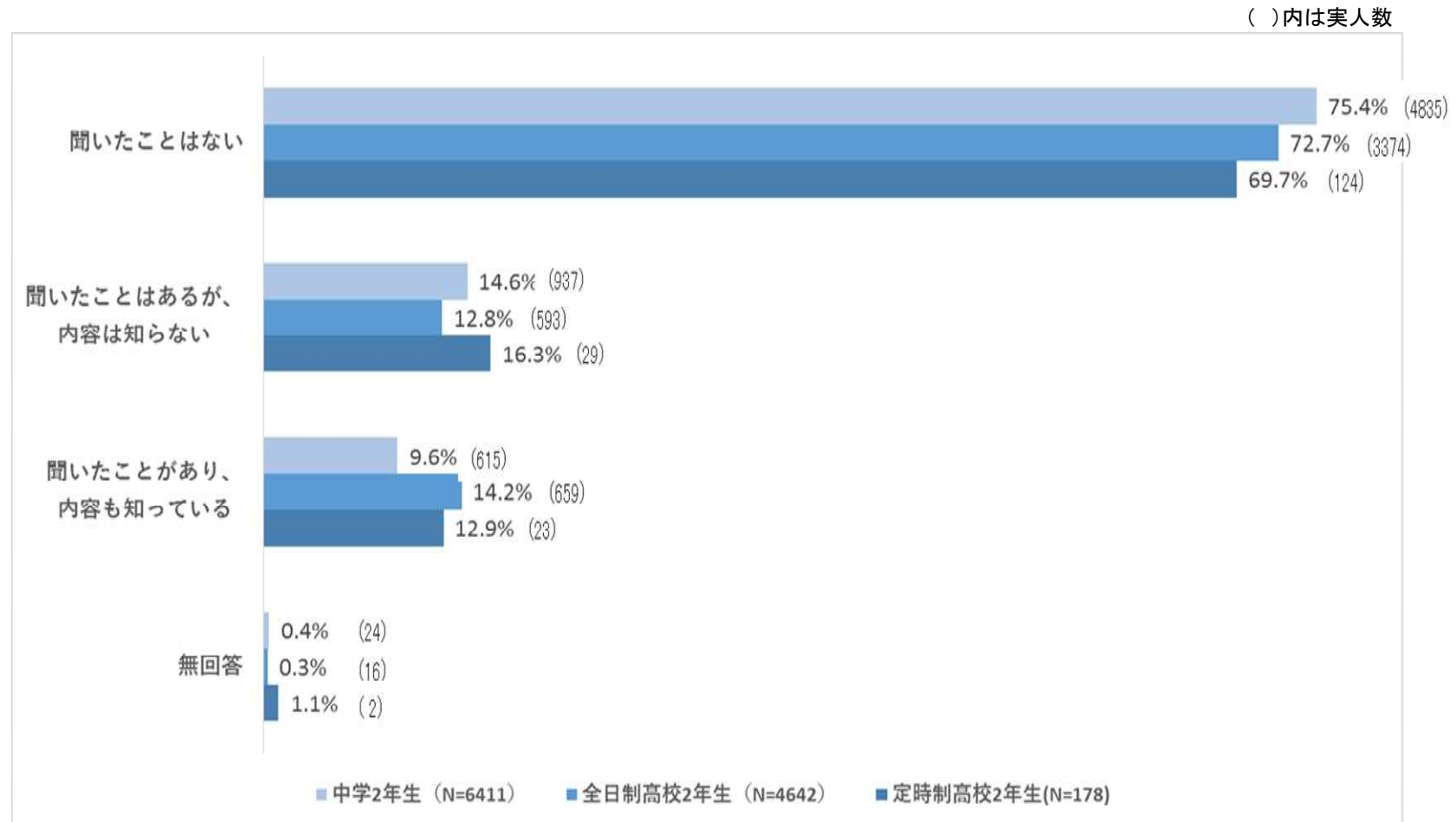
区分	調査票配付(対象)数(A)	有効回答数(B)	回収率(B/A)
高齢者を世話しているケアラー	1,390	987	71.0%
障がい者を世話しているケアラー	1,515	447	29.5%
相談支援機関	832	416	50.0%

### 【ヤングケアラー】

区分	調査票配付(対象)数(A)	有効回答数(B)	回収率(B/A)
生徒	約5万	11,231	約22%
学校	691校	561	81.2%
スクールソーシャルワーカー	73人	46	63.0%

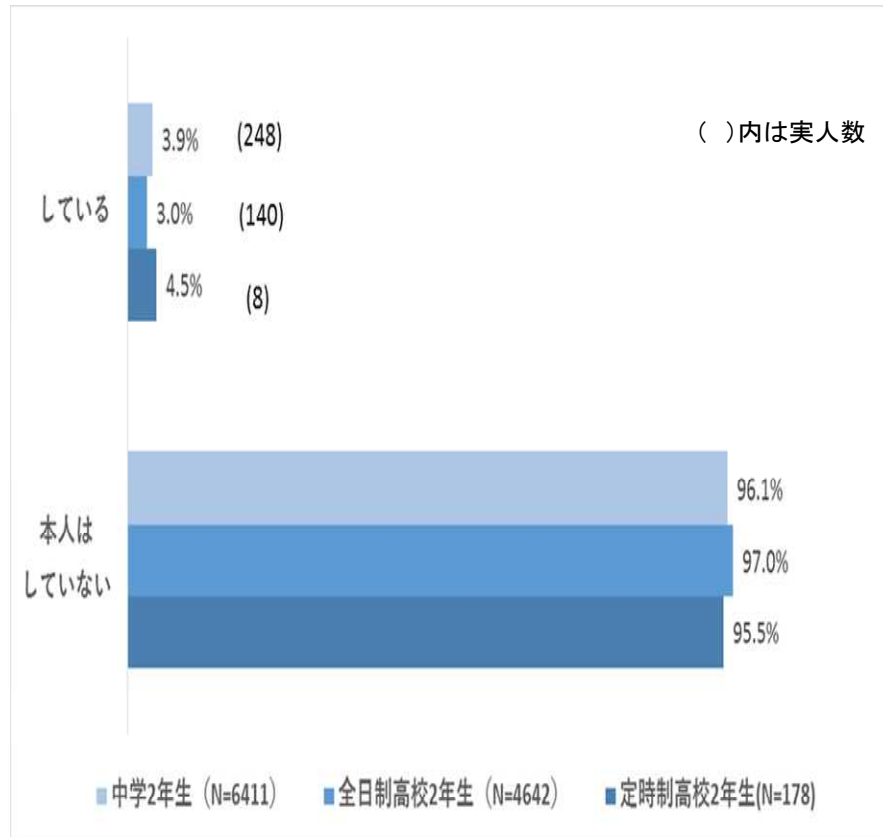
## 主な調査結果(ヤングケアラー関連分)

### 1 ヤングケアラーという言葉の認知度

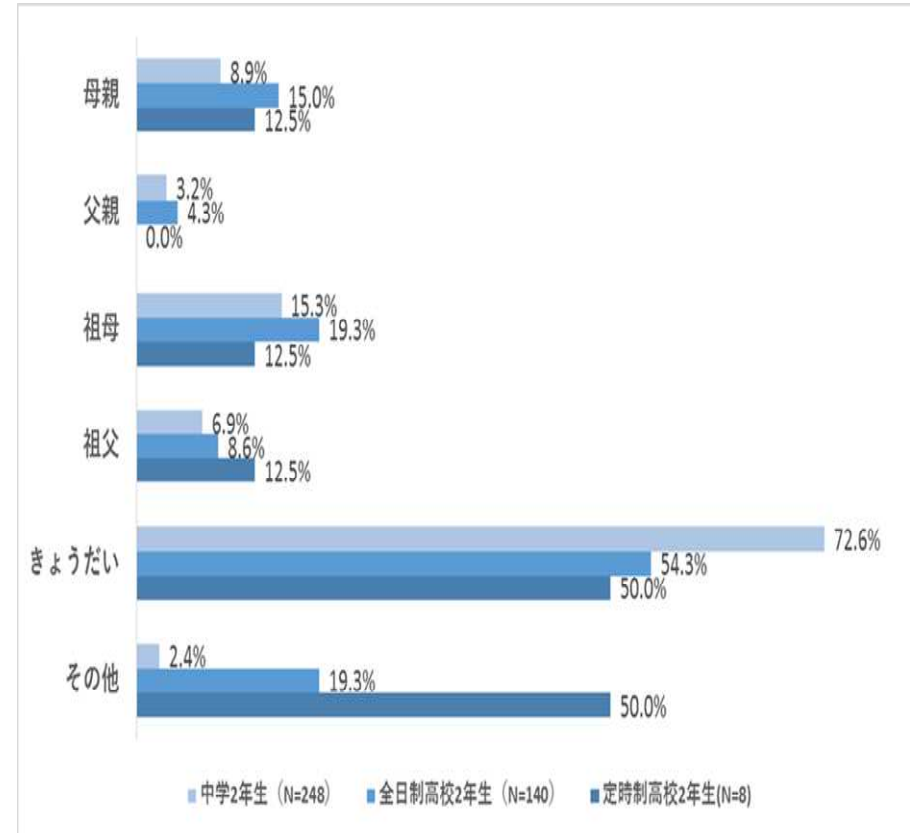


## 2 世話の内容

(1) 回答者本人が世話をしていると答えた割合(ヤングケアラーの割合)



(2) 「世話をしている」人の内訳(複数回答)



### 3 世話の頻度

( )内は実人数

